

平成30年度 第3回 学校運営協議会 会議録

日 時 平成31年1月16日(水)
13時30分～15時40分
場 所 千葉県立京葉高等学校大会議室

1 開会の言葉(教頭)

2 校長あいさつ

3 県教育委員会あいさつ

(千葉県教育庁教育振興部生涯学習課学校・家庭・地域連携室 主査)

4 協議

(1) 部会(各部会に分かれての協議)

平成30年度の取り組みのまとめ及び今後の取り組みや課題について、各分科会で協議を行った。

(2) 全体会

各部会からの報告及び協議を行った。

【地域連携部会】

(報告)

- ・現時点で今年度のべ263名の生徒が社会貢献活動等に参加しており、昨年度の252名を越えており、年を追うごとに増加しているが、さらに参加者を増やす工夫が必要である。
- ・今後、外部人材の活用を増やすことで、地域連携活動における学校の負担を減らすことができるのではないか。

(意見等)

委員 ボランティアの機会が増えると、教職員の負担が増えるのではないか。教職員の増員はできないのか。

校長 学校の職員定数の関係で難しい。

委員 もう、十分ボランティア活動を行っているようだが、今後も活動の機会を増やすのか。

教頭 特定の生徒だけでなく、より多くの生徒が経験できるような機会を設けたい。

委員 国府まつりのボランティアとして生徒を参加させたらどうか。

校長 ここ数年、京葉祭(文化祭)と日程が重なってしまっているため参加できない。

委員 京葉祭の日程を変えたらどうか。

【キャリア教育推進部会】

(報告)

- ・市原市が主催するゴルフ場視察研修会に参加した生徒がゴルフ場に内定した。また、今年度実現した企業インターンシップに参加した生徒も複数名内定をいただいた。生徒にとって貴重な体験ができるので、今後も、引き続き取り組みたい。
- ・資格取得の取組に関して、より多くの生徒が参加するよう工夫をしたい。
- ・危険物取扱乙種4類の資格取得に向け、昨年度に引き続き、校長が講師となり校内で講座を開設した。

(意見等)

- 担当 進学先や就職先が早目に決定した生徒のモチベーションを高めるための取組として、どのようなことが考えられるか。
- 委員 生徒自身が進学先や就職先を訪問し、4月までにどのような準備をすればよいか尋ねるような企画を行ってはどうか。
- 委員 取得資格のための活動をさせてはどうか。
- 委員 上級学校や企業の方から講演をしていただいたらどうか。
- 委員 県内でも普通科の中に専門のコースを取り入れる動きがあるのか。
- 校長 市内の高校で工業コースを準備するほか、県内では、教員基礎コースやものづくりのコースなど設置が広まっている。

【小・中・高・大連携部会】

(報告)

- ・今年度は、東海中学校において、理科及び英語、ちはら台桜小学校及び千種小学校において書道の出前授業を行った。
- ・今年度、出前授業等についてPRを地区の校長会で宣伝をしたが、次年度以降も行ったらどうか。
- ・小学校では英語だけでなくICTの指導で困っている先生もいるので、次年度は、ICTの関係の協力を強化したらどうか。

(意見等)

- 委員 連携先の児童・生徒及び職員に対しアンケートを行い、データを蓄積してはどうか。

(3) 学校評価《外部評価》について

教頭から今年度の学校評価等の結果及びその考察について説明した。

5 閉会の言葉（教頭）